

## 共に伸び、共に輝け、感謝・感動

## しなやか えだわん



## えだわんだより

## 横浜市立荏田東第一小学校

◆〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

◆Tel…045-941-7630 Fax…045-942-9464

◆<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edahigashi/>せみ  
蝉よ、鳴くか

学校長 熊谷 潤平

センター南駅に向かって歩いていると、なんだか違和感のある「ジージー」という虫らしき鳴き声が。「まさか、蝉…?。」と自分の感覚を疑っていたら、ほどなく、気象庁から梅雨明け宣言が出されたことを知りました。6月27日のことです。観測史上最も早い梅雨明けとのことですが、加えて、この連日の猛暑・酷暑。そりゃあ蝉も鳴き始めるかー。

いやいや。そうは言ってもまだ6月です。夏休みまで、あと20日以上もあります。それでも、蝉よ、鳴くのか。

6月の蝉は、尋常ではない暑さを実感させるとともに、熱中症を始めとした酷暑への危機意識を否が応でも高めます。学校では毎日、矢崎副校長と林養護教諭が、WBGT計を挟んだマイクスタンドを校庭の真ん中に置き、頻りに数値を確認しています。専任の松本教諭は数値と熱中症ガイドラインをにらみ、体育や外遊びが可能かどうか全校に周知します。

6月に40度予報が出てしまうこの時代。このままでは、プールの水温が33度を超え、快晴なのに猛暑による水泳禁止という事態さえ起こり得ます。まさに、前例のない予測不能な時代。

でも、令和4年度の6月は、3年ぶりに5年生・6年生両学年共に宿泊学習へ行くことができました。西湖と日光には、それぞれ古今東西不変であろう子どもたちの、子どもたちらしい笑顔が、無邪気さが、ありました。

子どもたちの振り返りを読ませてもらったところ、「特に、温泉と寝る準備、夜ごはん(1日目)が印象に残りました。温泉は、みんなで楽しく入ったし、寝るときは、少し話して寝ました。1日目の夜ごはんのときに出てきたごはんがおいしかったです。デザートではケーキときなこもちがおいしかったです。」とは5年生の さん。同じく5年の さんは、「人前で少しは大きな声を出して、実行委員会で活躍することができた。計画をする力が身に付いた。進んで活動する力が少しは身に付いた。次の課題はみんなをもう少し盛り上げる!」とのこと。素直さと次への意気込みが心地よいです。一方で6年生も、「人数が多いときの正しい過ごし方を学ぶことができた。自分の思いどおりに何でもかんでもならないということに気付いた。しっかり時間どおりに行動することができた。」とは

さん。 さんも、「より切り替えができるようになった。日光の歴史や街並みを知った。体力が少し付いた。箱根のときの失敗を生かして日光宿泊体験学習をより楽しくできた。」と振り返っていました。さすが最高学年、俯瞰(ふかん)する力の伸びを感じます。

このような、子どもならではの感性が大好きです。予測不能な時代の中にあっても、不易・不変な子どもの健気さ・しなやかさ…。

これからの時代は、たとえ6月であっても、蝉よ、鳴くのか?異常気象だ、予測不能だと騒いでいるこちらのことはどこ吹く風、「おう、鳴くともさ。」と平気な顔で鳴く蝉に、なんだか飄々(ひょうひょう)としたたくましさを感じます。安全・健康には最大限の注意を払いつつ、飄々としたたくましさもまた、我が「えだわん」の子どもたちに身に付けていきたいと願います。酷暑を乗り越え夏休みを迎え、事件・事故に巻き込まれることなく、どうかたくましく、どうか元気に、思い出深い39日を過ごしてほしいと重ねて願うところです。